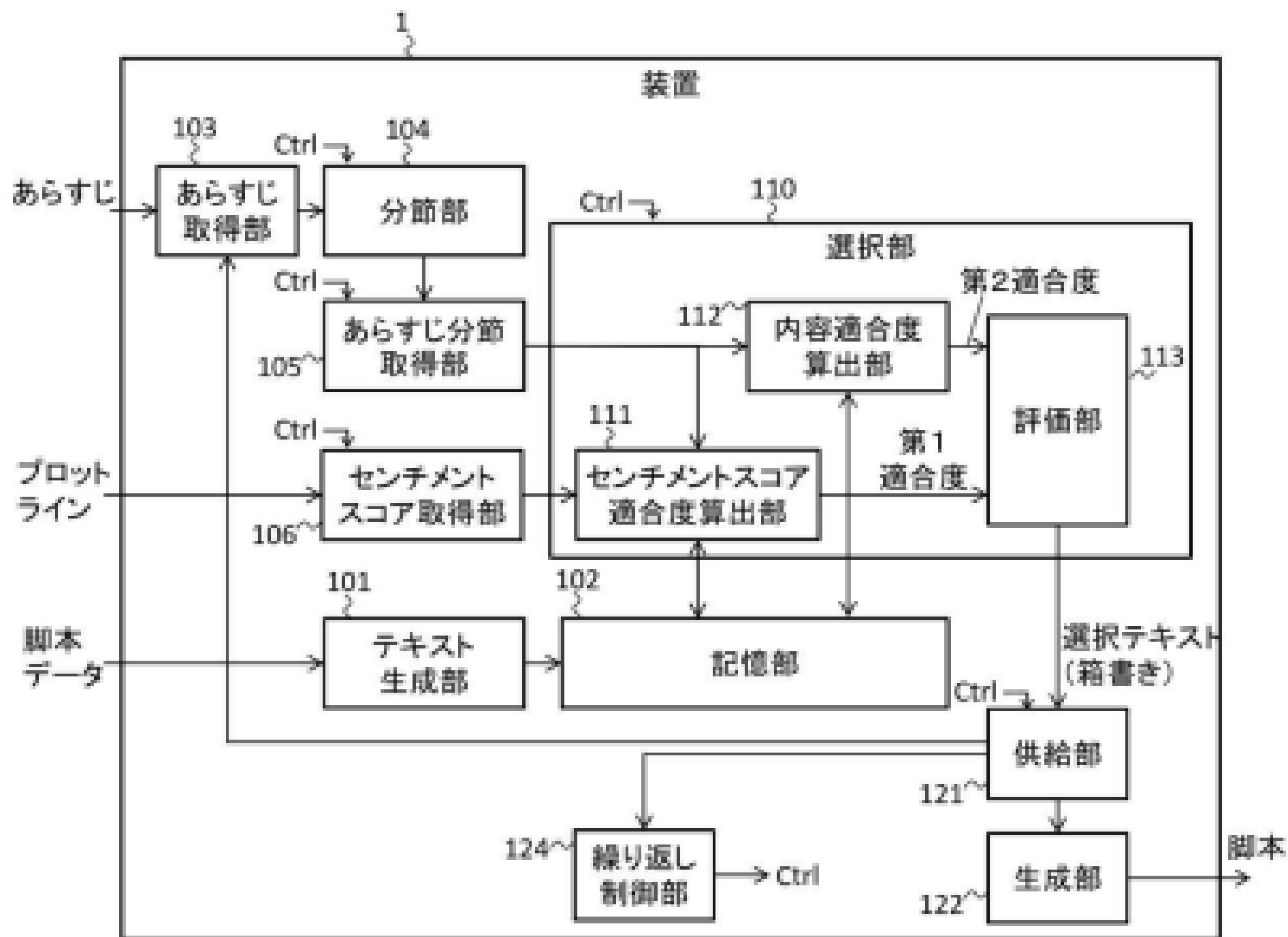
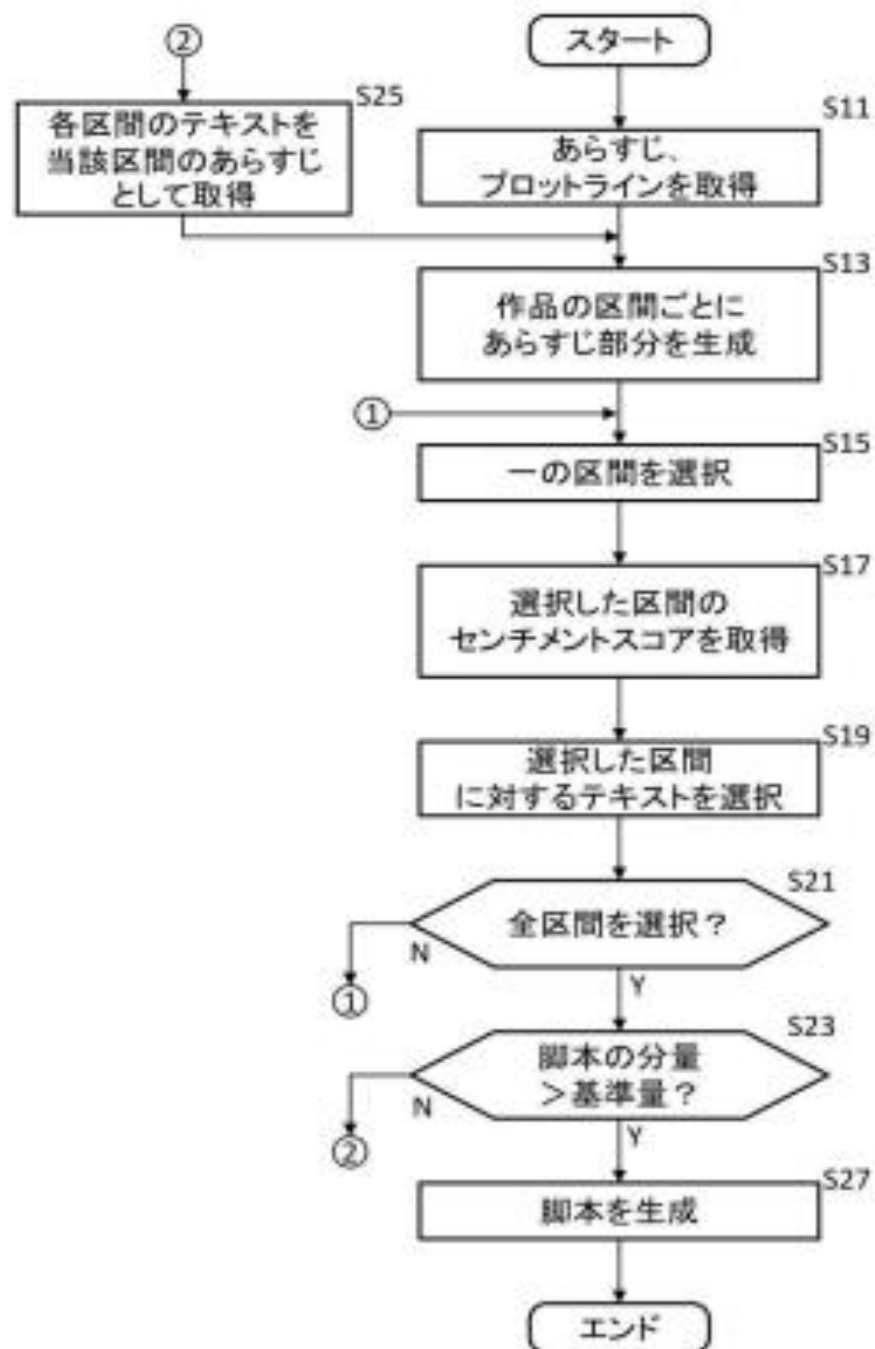


【図1】



【図 2】



【図3】

あらずじ「不登校の少年が、ある日からおじさんのトマト栽培を手伝うことになり、畑でのトマト栽培で元気になり、再び登校できるようになる。」

大箱(1):	少年は不登校でカウンセリングを受けているが、やっぱり勇気が出ずに校門で引き返してしまい、暗い気持ちのまま自宅で読書して過ごす。		-0.2	
小箱(1):	カウンセリングルーム	夕	少年、不登校でカウンセリングを受けている。	0.2
小箱(2):	学校	朝	少年、校門でやっぱり勇気が出ずに引き返してしまう。	0.4
小箱(3):	通学路	昼	少年、学校には行ったフリをしよう。	-0.4
小箱(4):	ビニールハウス	朝	少年、暗い気持ちのまま読書して過ごす。	-0.9
大箱(2):	男の子はあるトマト作りのおじさんと出会い、ある日よりおじさんおトマト栽培を手伝う。		0.6	
小箱(1):	自宅	夕	少年、食卓にはトマトだけ残す。	0
小箱(2):	ビニールハウス	昼	少年、畑のおじさんに出会う。	0.4
小箱(3):	ビニールハウス	朝	少年、おじさんのトマトを食べているのを発見する。	0.3
小箱(4):	ビニールハウス	昼	少年、おじさんのトマト栽培を手伝い、収穫したトマトを受け取る。	0.6
大箱(3):	トマト作りのおじさんのトマト栽培を減茶苦茶にされて絶望し、おじさんに悲しい気持ちで謝って畑に来なくなる。		-0.4	
小箱(1):	ビニールハウス	夕	少年、おじさんからトマト作りを手伝わされる。	0.5
小箱(2):	ビニールハウス	昼	少年、トマト栽培をいじめっ子に減茶苦茶にされて絶望する。	-0.6
小箱(3):	自宅	夕	少年、暗い気持ちでおじさんとビニールハウスを修復する。	-0.5
小箱(4):	ビニールハウス	昼	少年、おじさんに悲しい気持ちで謝って畑に来なくなる。	0
大箱(4):	トマト作りのイロハをおじさんに伝授してもらい、収穫できたトマトをもって男の子は登校することになる。		0.8	
小箱(1):	自宅	昼	少年、トマトを食べておどろく。	0
小箱(2):	ビニールハウス	朝	少年、おじさんから畑仕事イロハを全て伝授される。	0.3
小箱(3):	ビニールハウス	昼	少年、トマト栽培を手伝い、収穫したトマトを受け取る。	0.4
小箱(4):	通学路	朝	少年、勇気を出して登校に挑戦してみる。	0.7

【図4】

